

平成二十一年六月

高速道路の混雑防止に関する要望書

国土交通大臣

金子一義 殿

社団法人 全日本トラック協会

会長 中西英一郎

平素は種々ご指導、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年三月より乗用車を対象として導入された、「高速道路料金 土日祝日千円乗り放題」により、ゴールデンウィーク期間中には各地で大渋滞が発生し、円滑な物流サービスにも各地で支障を生じました。

具体的には、荷物の大幅な到着遅延による荷主からのクレーム・料金減額請求、異常な長時間運転と休憩施設の利用困難による運転者の疲労困憊、燃料消費・各種手当の増大等の実害が生じております。

このような状況の中で、夏休み等に向けて、土日祝日以外にも適用拡大を図るよう検討がなされるとの報道が行われておりますが、私どもトラック業界といたしましては、そのような施策により、高速道路の大渋滞がふたたび全国規模で発生し、公共的な物流サービスに大きな障害が発生することを懸念しているところであります。

つきましては、円滑な物流サービス確保のため、以下のとおり要望いたしますので、何卒よろしくご配慮賜りますようお願い申し上げます。

記

一、千円乗り放題の多客期・平日への適用拡大については、極力見合わせていただきたい。

二、多客期における高速道路の大混雑、大渋滞の緩和策を十分検討いただくとともに、新たな施策によって著しい遅延が生じた場合には、公共運輸サイドの損失に対し、適切な対策を講じていただきたい。

三、大混雑時に、サービスエリア等における大型車用の駐車・休憩スペースが乗用車によって占拠され、大型車が利用できないような事態を生ずることのないよう、各道路会社において適切な措置を講じていただきたい。